資 料 D-20-4

平成 26 年 4 月 24 日

第 3 回男女共同参画部門「女性研究者ネットワーク女子会」報告

人材育成委員会　男女共同参画部門
山田　明

第 3 回「女性研究者ネットワーク女子会」を、第 61 回応用物理学会春季学術講演会時に開催した。この会は、応用物学会内の女性研究者のネットワーク作りを目的に第 74 回応用物学会秋季学術講演会から開始され、今回は男女共同参画部門が企画した特別シンポジウム「応用物理分野で活躍する女性達　～第 2 回フォトニクス編～」終了後に行った。参加者は 27 名であり、シンポジウム及び女子会に関する感想、今後女子会で行うべき活動などについて活発な討論を行った。

シンポジウムに対しては、研究上の参考になったと言う意見ばかりでなく、

- 特別シンポジウムにおいて研究発表をする、活躍する女性を見ることによりエネルギーが頂ける。

との企画部門としては嬉しい意見が出された。女子会に関しては、そもそも応用物理学会において、このような取組を行っていることに驚いたとの感想を頂いた。女子会への参加理由は、以下の 2 点にまとめられる。

- 女性として教育・研究に何が貢献できるか考えたくて参加した。
- 女性研究者としてネットワーク作りを行いたかった。

以上のような議論を重ね、今後の女子会の活動としては、

- 女性研究者への良いロールモデルの提示（女子会メンバーによるロールモデル集、第 3 弾ロールモデル集）
- シンポジウムと同時にポスター発表を開催し、お互いを良く知るための情報交換・意見交換の場の設置
- 女性研究者のマスが少ないため、女性の声を学会内でまとめる必要性（応用物理学会トップと女子会メンバーとの意見交換会）

などが提案された。

但し、今回第 3 回目の女子会を行ったが、シンポジウム後に開催することが多く、シンポジウムのテーマが異なると参加する女性研究者も変わり、いわゆるリピータが少ないことが問題点である。このため、今後この会を定着させるためには、開催時間を工夫する必要があるなど改善の余地があることも明らかとなった。

以上